

世界報道写真50周年記念展



1967 エド・ヴァン・デル・エルスケン キューバ アヴェニュー(オランダ)

絶望と希望の半世紀

2006年7月22日(土)⇒9月10日(日) 東京都写真美術館 3階展示室

10:00~18:00(木・金は20:00まで) 入館は閉館時間の30分前まで 休館日:毎週月曜日



東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

Tel 03-3280-0099 <http://www.syabi.com>

■ JR恵比寿駅東口より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。

■ 当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

主 催 (財) 東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 朝日新聞社 世界報道写真財団
後 援 オランダ日本大使館 社団法人日本写真協会 社団法人日本写真家協会
協 賛 キヤノン株式会社 キヤノンマーケティングジャパン株式会社 TNT
協力 エスティンホテル東京 文化堂印刷株式会社 HBP-700
観覧料 一般・700円 (560円) 学生 600円 (480円)
中・高校生・65歳以上 400円 (320円)
○ 内は26名以上の団体料金および東京都写真美術館友会の会

小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料
65歳以上は第3水曜日無料 ※貸切で出来るものをご希望頂く場合がございます
お問い合わせ 朝日新聞社文化事業部「世界報道写真50周年記念展 絶望と希望の半世紀」係
Tel 03-5540-7450



Photojournalism in context since 1955

世界報道写真50周年記念展

アンリ・カルティエ＝ブレッソンが鉄のカーテンの向こう、ソ連を撮った(1955年「パリマッチ誌」)。リチャード・アヴェドンがビートルズを撮っていた(1968年「ルック誌」)。ヘルムート・ニュートンのベルリンがある(1979年「ヴォーグ誌」)。セバスチャン・サルガドをフォトジャーナリストのスターにしたサヘル(1985年「リベラシオン紙」)。アーヴィング・ベン、ユージン・スミス、ナン・ゴールドン、ジェームズ・ナクトウエイetc.

きら星のごとく著名な写真家たちが紙面を飾った雑誌や新聞。ベトナム戦争に多大な影響を与えたライフ誌などの特集。人類が初めて月に降り立ち、送ってきた鮮明な写真。学生運動が、ロックスターが、そしてエイズが写真で、ストーリーで雑誌に掲載されて世の中に広がっていく。社会現象が、科学が、娯楽が写真を通して語られた。

世界報道写真50周年を記念して東京都写真美術館で開かれる「絶望と希望の半世紀」は、写真家が活躍し、メディアの力が大きな影響力を持っていたこの50年をふり振り返り、貴重な特集ページや写真が出品される。そこには写真家たちが写した時代があり、えぐり出された絶望と対面するとともに、人類の希望を映し出した映像も発見することになるだろう。



1981 メアリー・エレン・マーク フォークランド・ロード シュテルン(ドイツ)



1976 リチャード・アヴェドン ファミリー ローリングストーン(アメリカ)



1955 アンリ・カルティエ＝ブレッソン ロシアの人々 パリマッチ(フランス)



2004 ミリジック&ジャリッシュ 足の物語 スドイッチュ・ザイトツング(ドイツ)



2003 川内 暢子 アフガニスタン フォイル(日本)

◆キュレーター

クリスチャン・コジョル（世界報道写真財団国際審議会会員、パリ「Vu」エージェント）

◆展示構成

1955～64 「雑誌がビッグだったころ」 アンリ・カルティエ＝ブレッソン等
1965～74 「ベトナム戦争の時代」 ラリー・バロー、ドン・マッカラン等
1975～84 「ヒーローとアンチヒーロー」 リチャード・アヴウェン等
1985～94 「新しい世界秩序」 セバスチャン・サルガド、ウォルフガング・ティルマンズ等
1995～2005 「報道アーティストの出現」 ジェームズ・ナクトウェイ等

◆特別レクチャー

キュレーター クリスチャン・コジヨル氏「ありのままの真実」
7月22日(土) 午後2時より 東京都写真美術館 2階ロビー(無料)